

幼保連携型認定こども園 **西神戸 YMCA 保育園 7月えんだより**

7月聖句：「隣人を自分のように愛しなさい」

＜ルカによる福音書 12章 31 節＞

長雨の季節は、何だか気持ちが晴れないですが、四季の移り変わりで夏そして秋がまた来ると思うと、自然の偉大さや雨の恵みの有難さを感じます。又、子ども達が水溜まりをじっと見つめている姿や、その中にそっと入ろうとする姿を見ると、好奇心一杯のその思いに、とても心が癒されます。

今月の聖句は、「隣人を愛すること」「自分を愛すること」ですが、皆さんはどちらが難しいと思いますか。隣人を愛する方が難しい。誰でも自分が一番大切だから、自分が自分を愛するのは、難しいというよりも当然のことではないだろうか。そんなご意見があることを想像します。では、自分の事は全てが好きですか？と聞かれたらどうでしょうか。私達は自分を大切にしたい、されたいと願いつつも、自分で自分を否定し、自分の嫌いなところを改善したいと思ったことはないでしょうか。自分を愛することが、いかに難しいかが少し理解できるのではないのでしょうか。そして、私自身も自分のことを肯定できずにいる一人です。

「わたし（神様）はあなた（私達）を選び、決して見捨てない。」この力強い言葉は、本当に心の支えになります。そして、「隣人を愛しなさい」と命じられます。それも「自分のように」という言葉を付け加えられました。それは、人は自分を愛するようにしか、隣人を愛することができないということです。自分の良いことも悪いことも心から受け入れて初めて、隣人を受け入れ愛することができるようになります。それには、私達が愛されていることを実感し、知らなければなりません。「あなたの存在を無条件で愛する」という神様のメッセージは全ての人に与えられています。そして愛を受け取り、自分を愛することができるようになった人は、次にそれを他の人へ手渡しすることができます。私たちの与え、与えられる関係の中に神様の愛が存在するというのです。

子ども達は、お家の人、先生達、ご近所の方、地域の方、たくさんの出会う人々に愛されて、大切にされて、隣人である人を愛すること、大切にすることに芽生えて、歩みだします。今は、大人も子ども達も人知れず、心に不安を抱え、誰かからの愛を待っているかもしれません。ひと言のあいさつや言葉、振る舞いは、愛をその人に伝える最大のメッセージです。そんなメッセージが飛び交うようにしていきましょう。

7月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	きもちいいね／ぞんぶんに	ここちよく
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の祈りや讃美歌に親しむ。 ・やりたいことを存分に楽しみ、そばにいる友だちの存在に気づき共感する。 ・砂や泥、水に触れ、その感触に興味を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを表現しようとする。又思いが通らないことを経験したり、共感され安心したりする。 ・賛美することや祈ることの心地良さや喜びを知る。 ・水、泥遊び等を思いきり楽しみ、気持ちよさを感じる。
讃美歌	どんどこどんどこ こども改 106	うたいましょう こども改 126